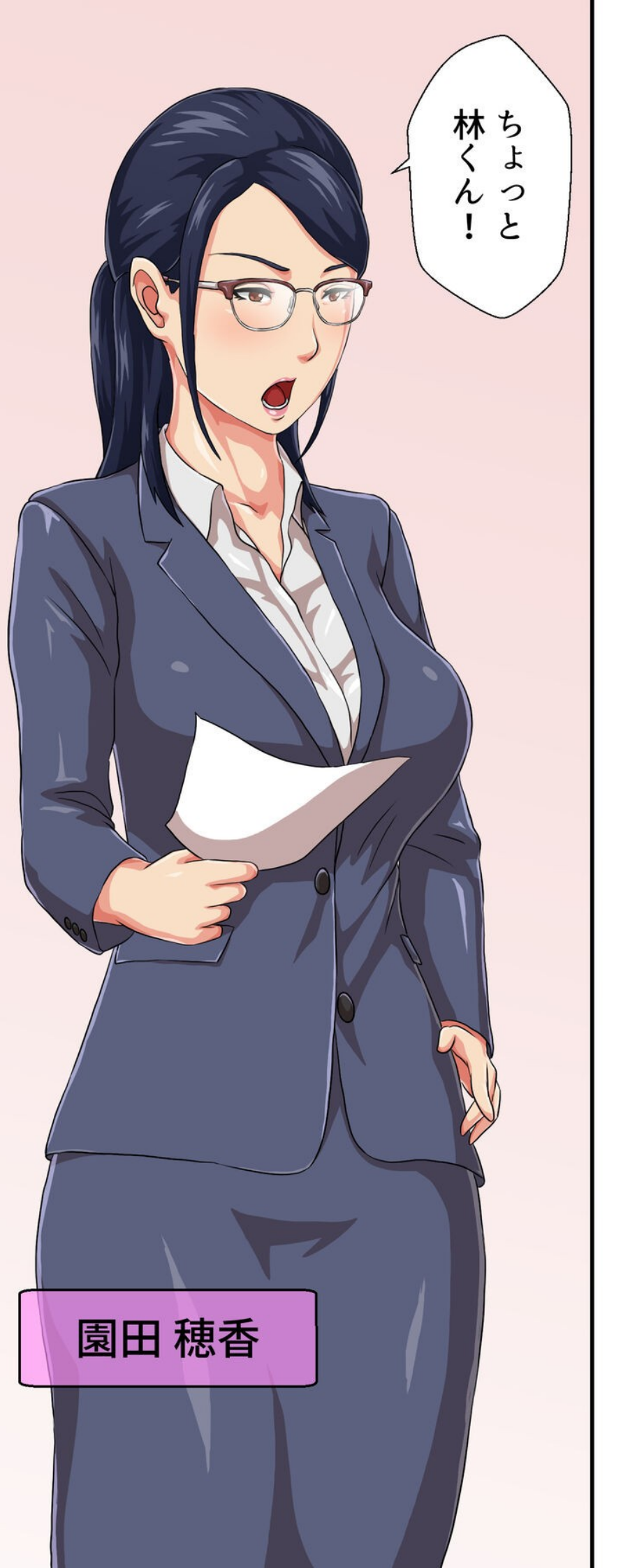
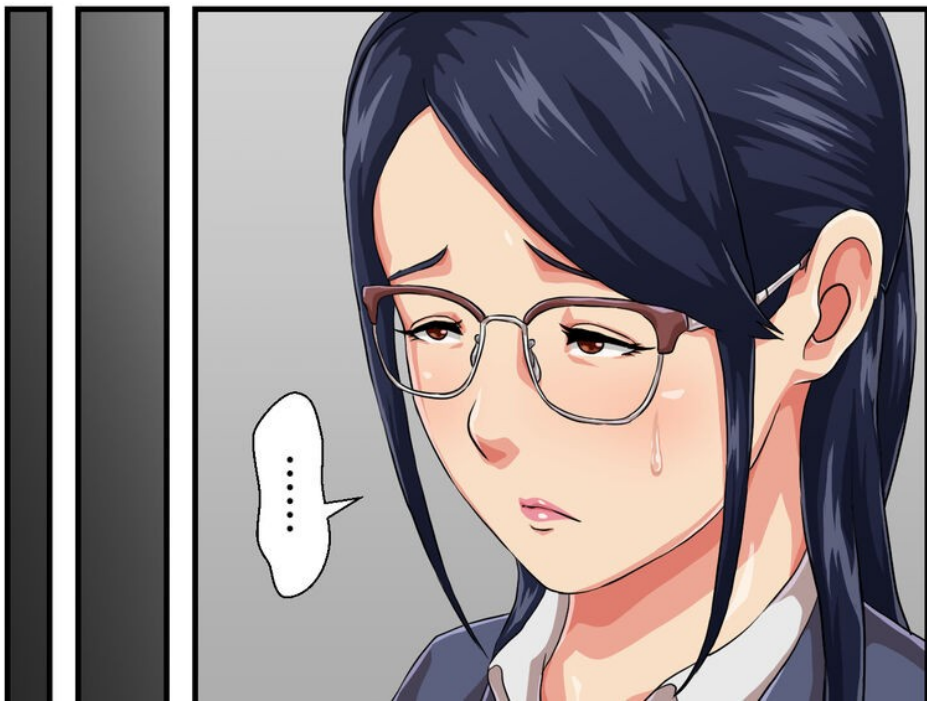
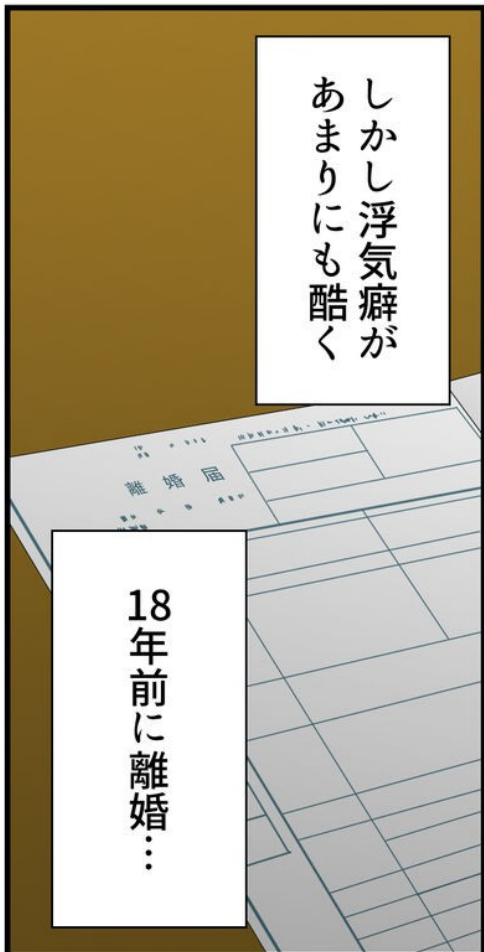
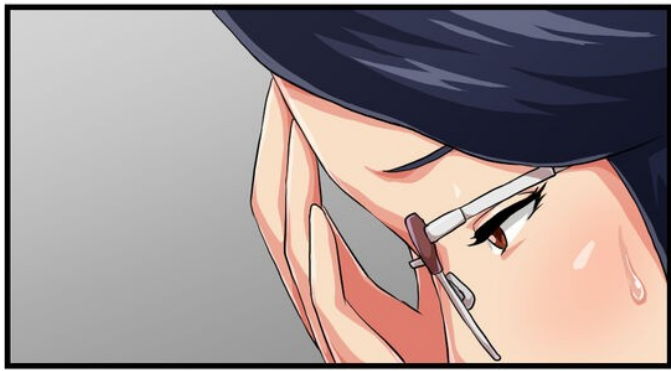





女上司は  
生き別れた  
母










すると元夫は大金と人脈を使って裁判で強引に悠人の親権を奪い取った

将来的に悠人に自分の会社を継がせる為だ



私の職場で悠人に出会った時は驚いた同姓同名の別人かと思っただけ




彼の顔にはわずかに息子の面影があった



その後履歴書を見て彼が悠人本人だと確信した

離婚当時の悠人はまだ3歳私の事は覚えていなかった



父親の会社を継ぐはずの彼がなぜここに居るのかはわからない

けれど私が悠人と接触している事がバレたらトラブルになりそうだから正体は隠している

職場では上司と部下：公私混同は避けなければいけないのだけれど



つい悠人におせっかいを焼いてしまう



—  
昼休み



うちの会社  
おっさんばっかで  
出会えないわー

!



いただきます



あの体型は  
さすがにねー

そうよねえ

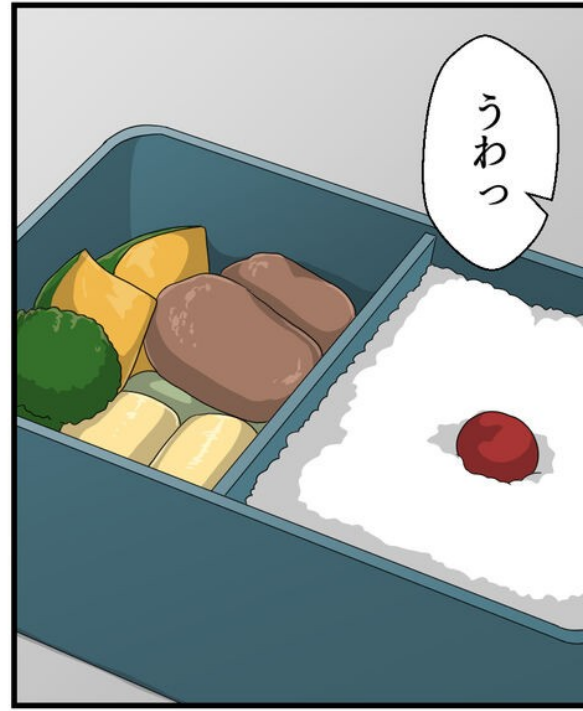


林君とかは  
若いほうじゃん

えー  
ないない

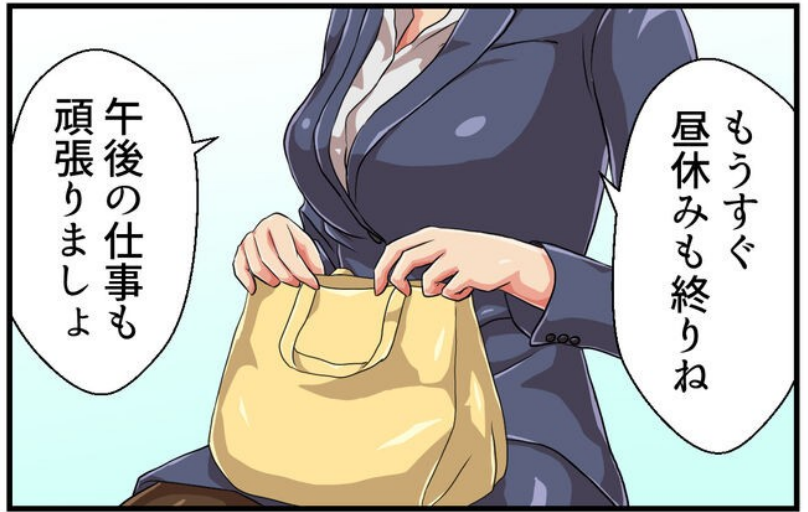




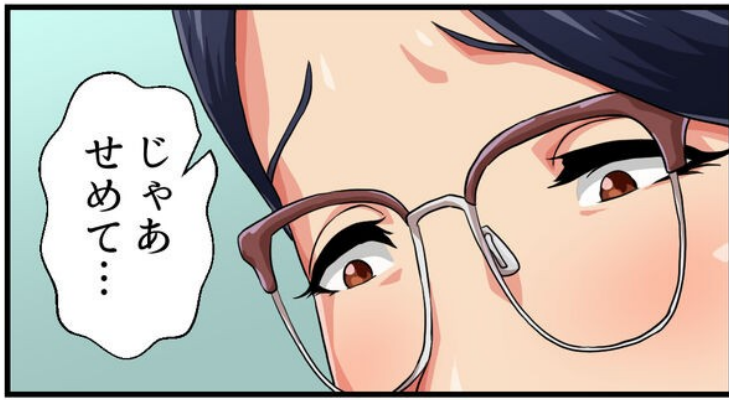


それから  
毎日悠人にお弁当を  
作って渡すようになった

健康の為とは  
言いつつも  
母親らしい行為を  
してあげられる事に  
喜びを感じていた









結局……



本当に  
1回だけだからね？

いい？



これが  
終わったら  
会社辞めよう  
そして  
もう二度と  
悠人には会わない

さようなら……  
悠人……



はいっ

うず

うず



元はといえば私が  
彼に余計な世話を  
焼きすぎたせいだわ  
私のせいで  
悠人を傷つけて  
しまったのは辛い……  
だから1回だけ……



わあっ……これが  
課長のおっぱいっ

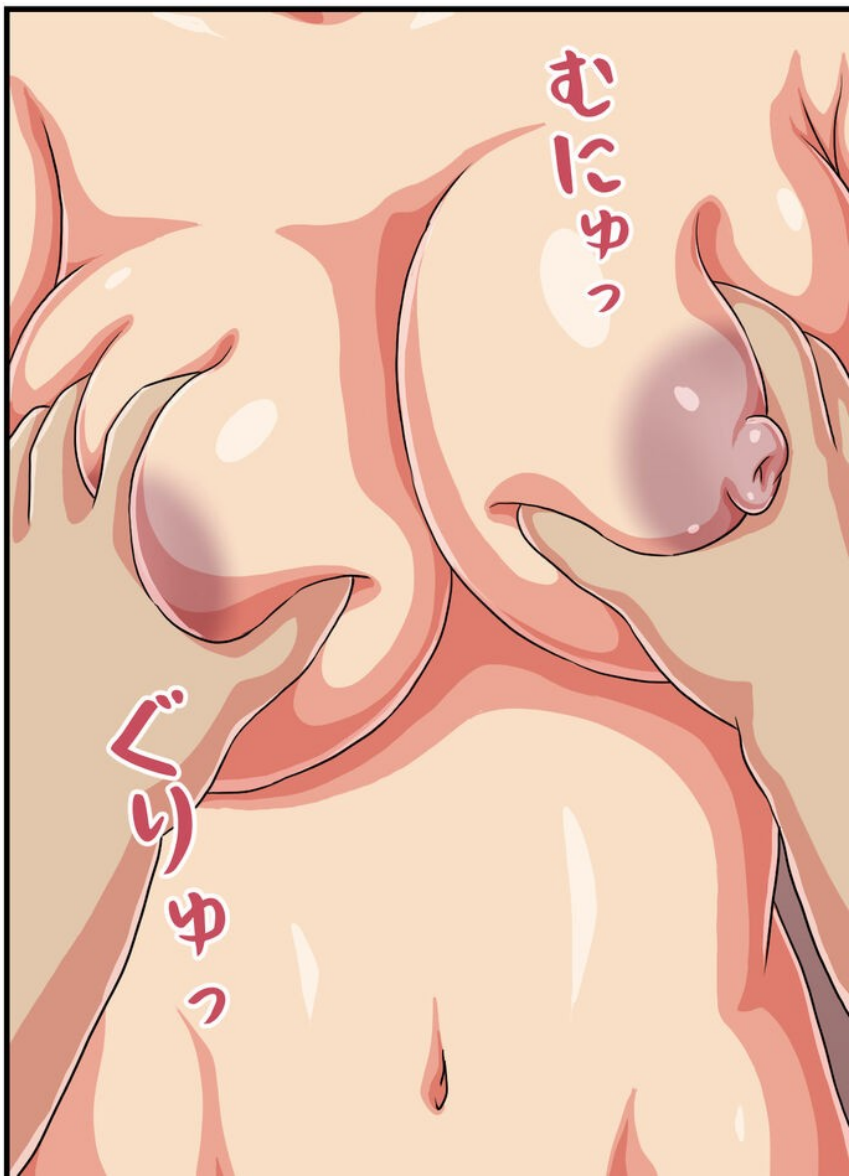
はあ

はあ



っ……

すごいつ  
柔らかいつ……



むにゅっ

ぐりゅっ



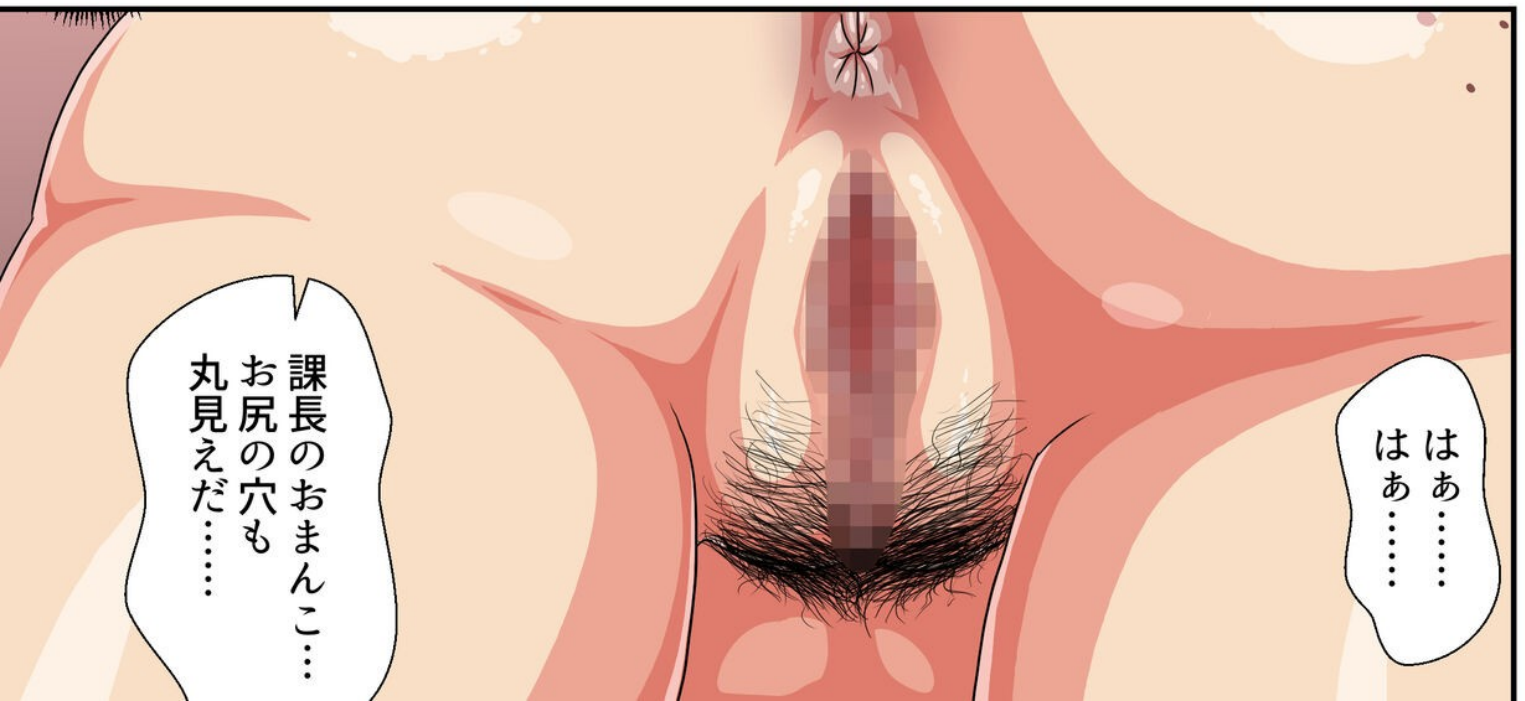
課長っ…  
お尻っ  
お尻も見たいです  
こっちに向けて  
くださいっ

ええ…？



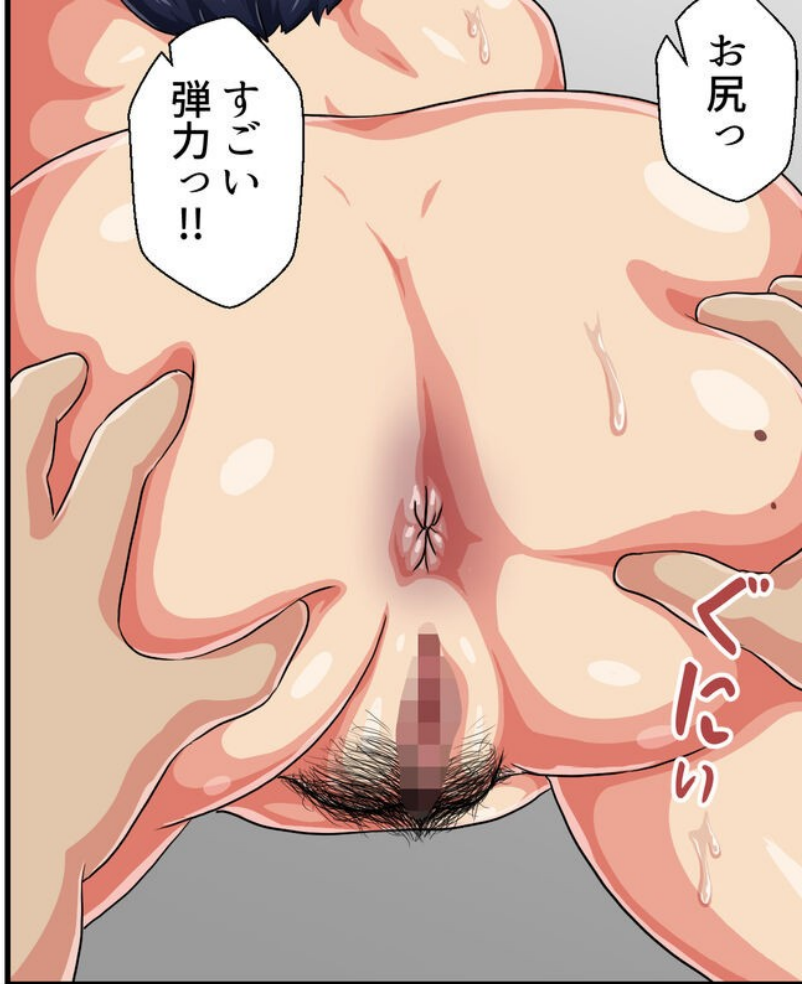
やだ…  
こんな恰好…

悠人…  
今あなたの相手を  
しているのは  
実の母親なのよ？



課長のおまんこ…  
お尻の穴も  
丸見えだ…

はあ…  
はあ…





僕が小さい頃に  
ママ居なくなっちゃった  
からママの顔ははっきり  
憶えてないんだけど

昔ママとお風呂に  
入った時に  
お尻にほくろが  
三角形に並んでるのを  
憶えてたんだ!



な...  
なんで  
分かったの!?



! やっぱり!  
ママなんだ!!

しまった...



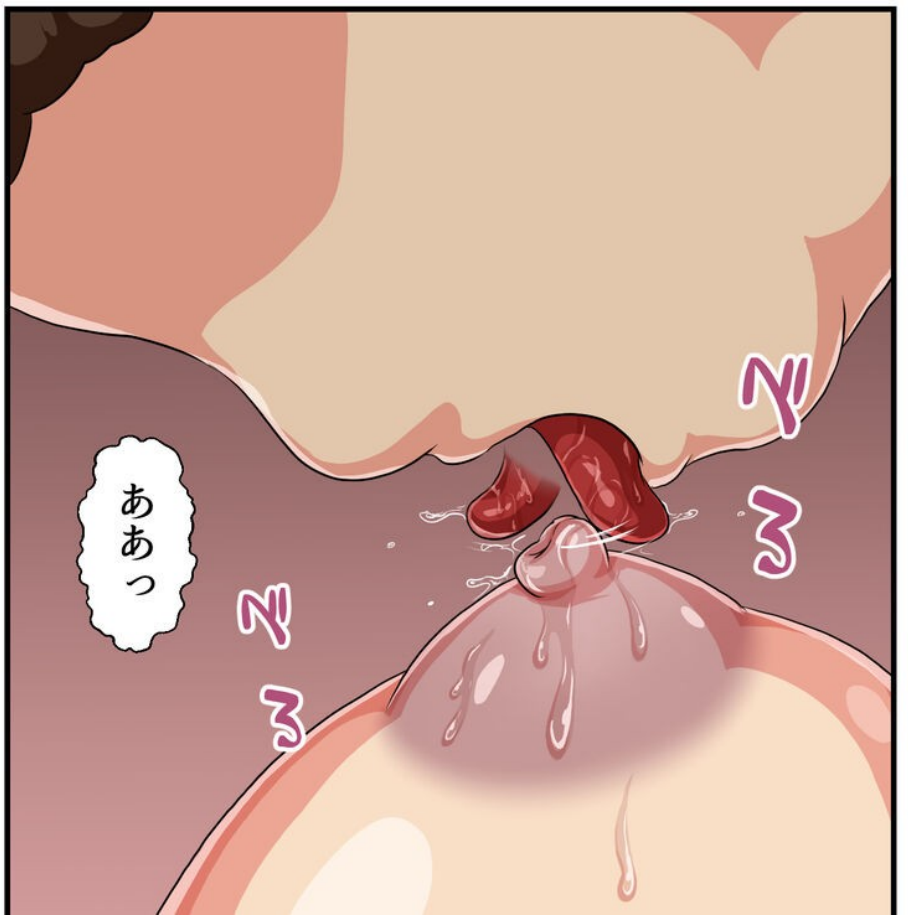
ママ!  
どうして言っ  
てくれなかつたんだよ!

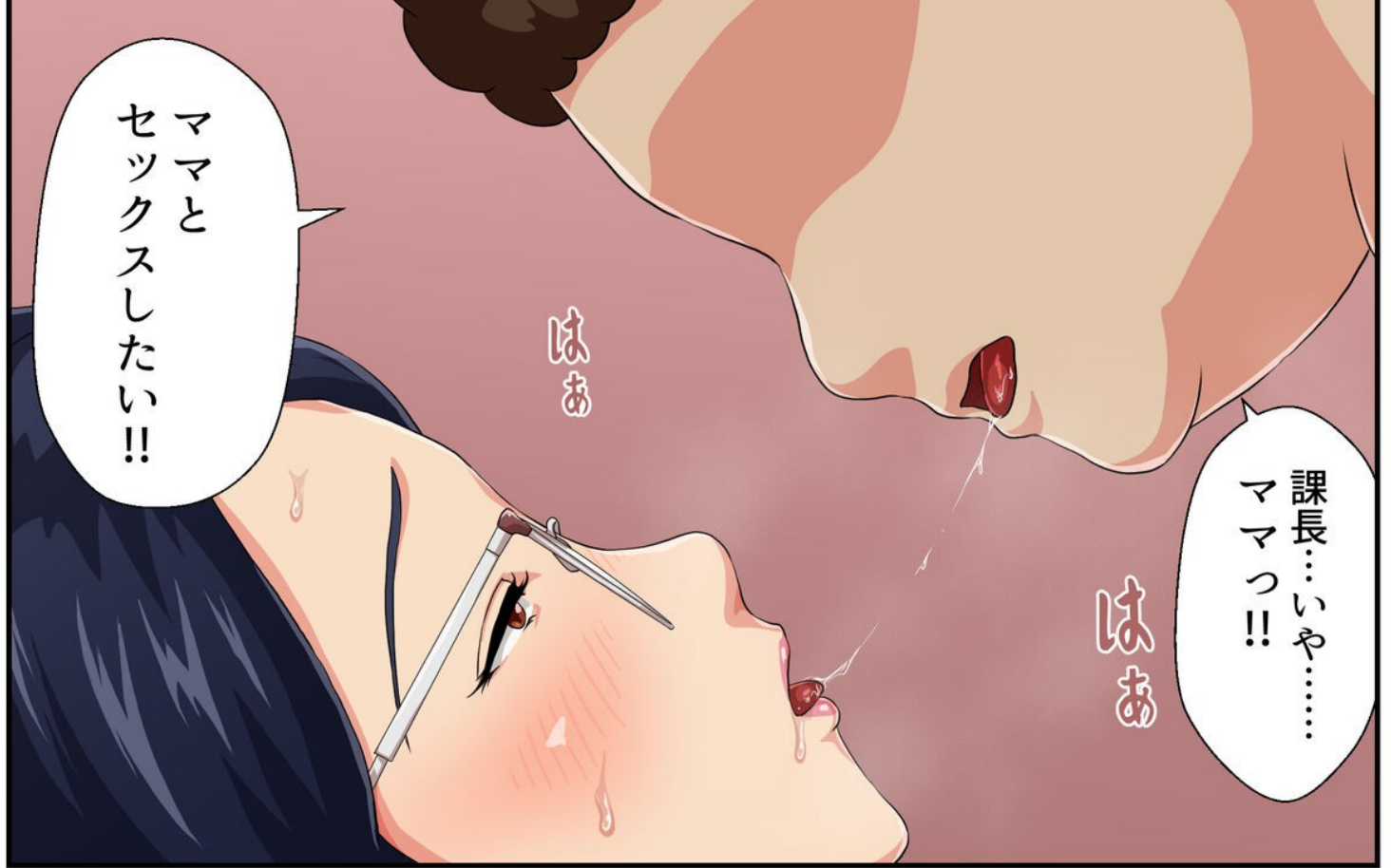
僕ずっと  
ママに会いた  
かつたんだよ!?

ごめん  
なさい...

あなたの父親から  
息子に接近しない  
ように言われてたの







ママと  
セックスしたい!!

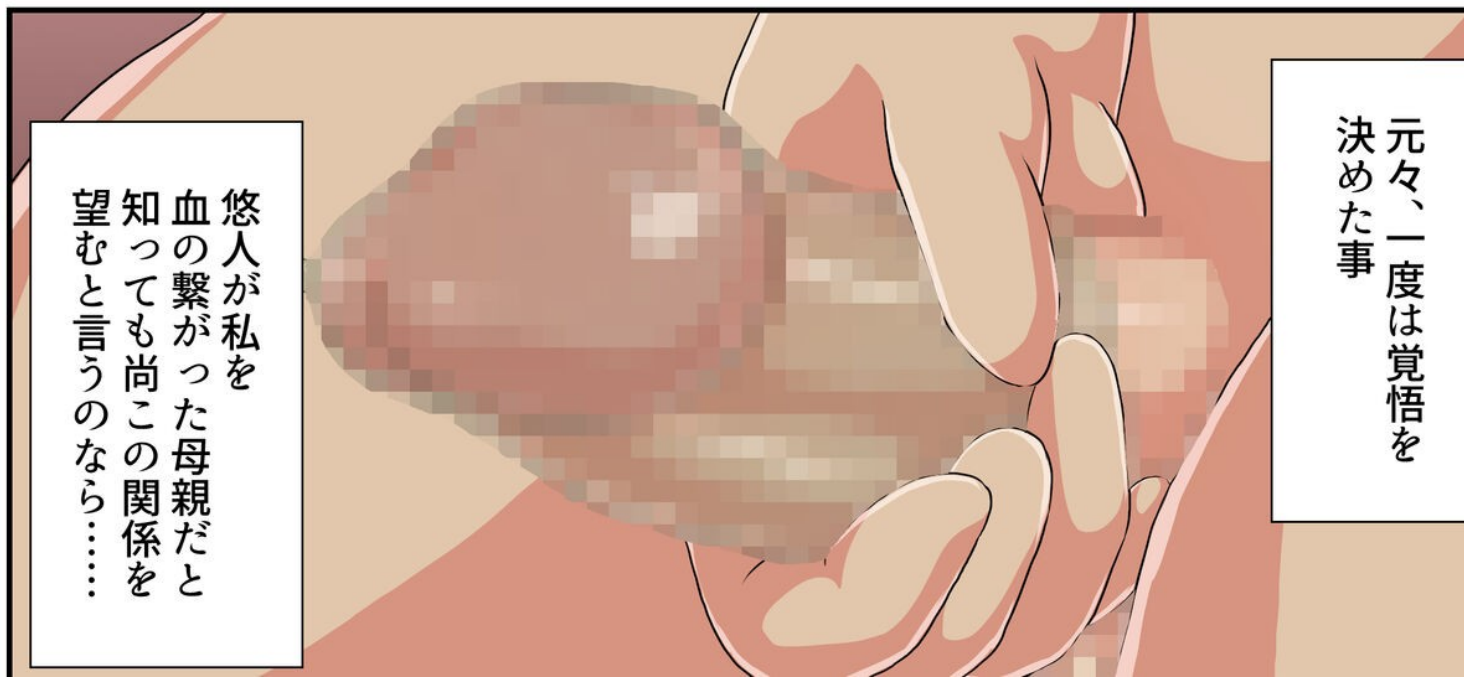
はあ  
はあ

課長…いや…  
ママっ!!

はあ  
はあ



悠人の熱意を  
感じて私は  
身体の力を抜いた



元々、一度は覚悟を  
決めた事

悠人が私を  
血の繋がった母親だと  
知っても尚この関係を  
望むと言うのなら……



挿入って  
しまったっ

あっ

ズ  
ツ

ズ  
ツ

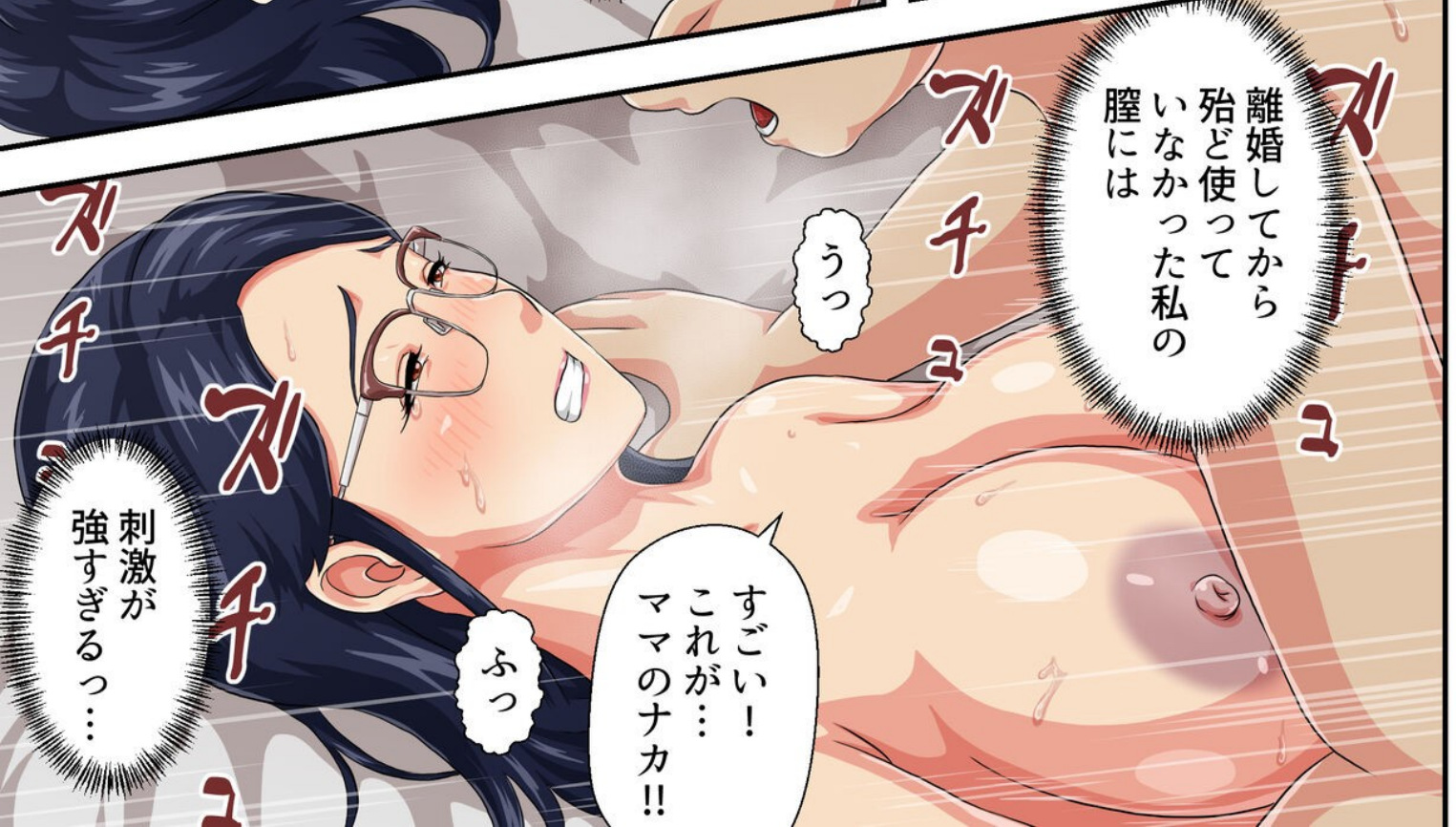
これが…  
悠人の…

意外と  
大きい…

あああっ



ず  
ぬ  
う



離婚してから  
殆ど使って  
いなかった私の  
膣には

うっ

すごい！  
これが…  
ママのナカ!!

ふっ

刺激が  
強すぎるっ…

ズ  
チ

ズ  
チ

ズ  
チ  
ユ

ズ  
チ  
ユ



18年前は  
あんなに小さ  
かった悠人が…

グ  
シ  
ユ

グ  
シ

ユ



久しぶりの  
セックスの相手が  
実の息子だなんて…

ズ  
ズ

ツ

ズ  
ツ

ズ  
ツ

ツ



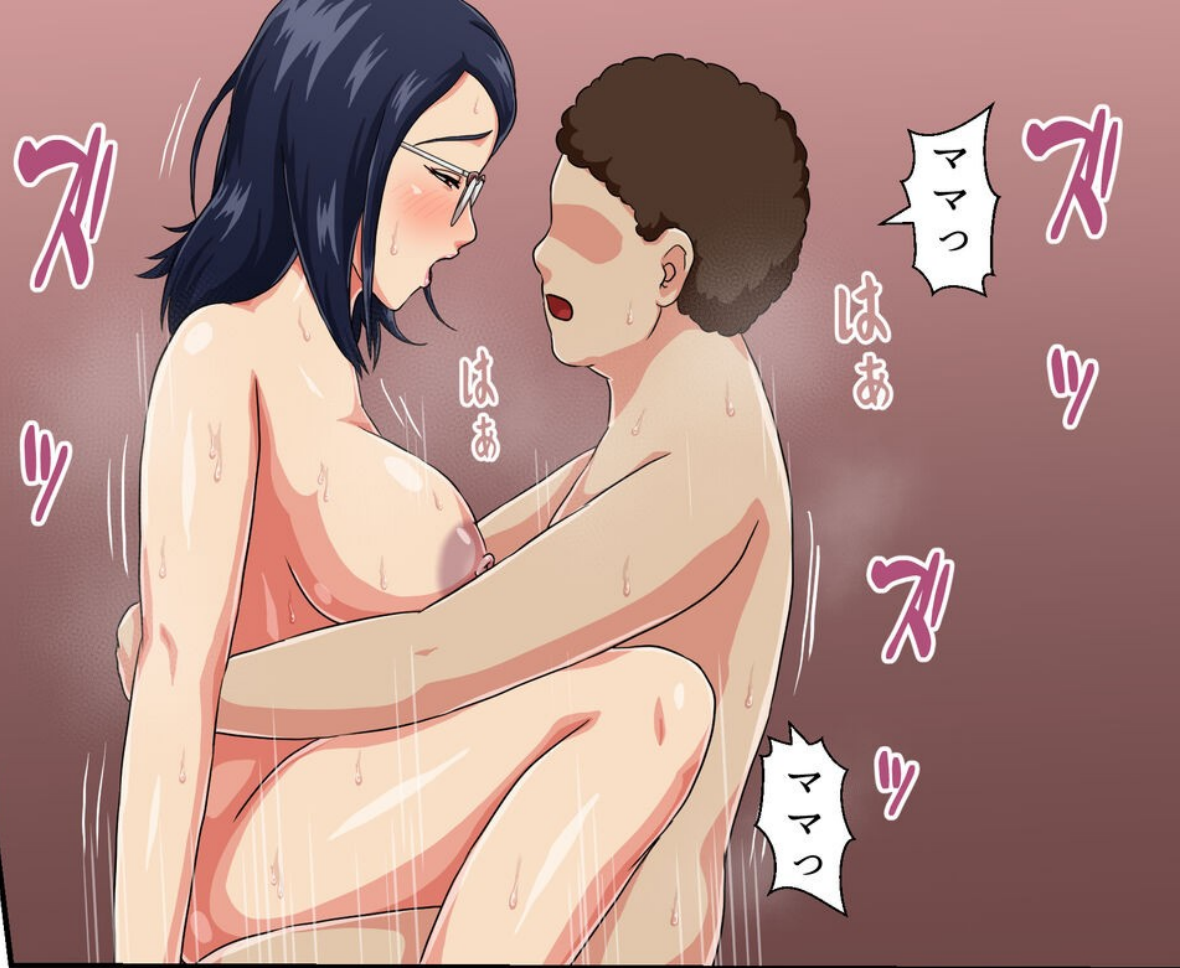
ふうっ

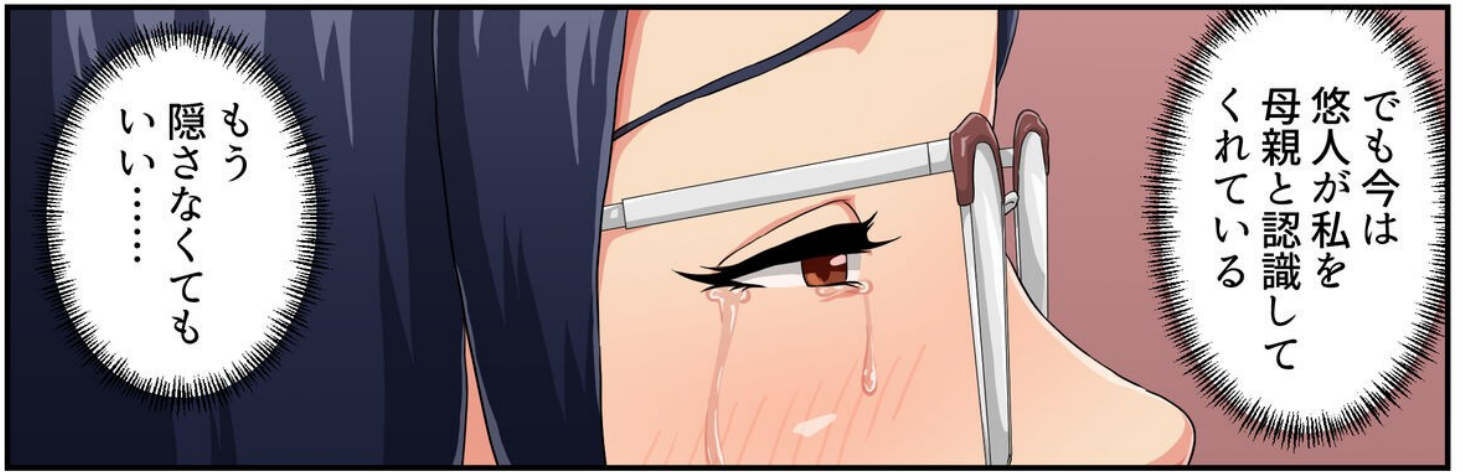
うっ

大きくなって  
私の臆内に  
帰ってくるなんてっ

ふうっ







もう  
隠さなくても  
いい……

でも今は  
悠人が私を  
母親と認識して  
くれている



悠人おおおおおお

ズ  
ッ  
ズ  
ッ  
ズ  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ



……ねえ

あなたは  
お父さんの  
会社を継いだん  
じゃなかったの？

僕、会社を継ぐために  
パパからいろいろ教育を  
受けさせられたんだ

でも全然勉強に  
ついていけなくて  
大学受験も失敗  
しちゃってさ

そうしたら  
パパに勘当されて  
家を出ることにな  
ったんだ

結局パパにとって  
僕は自分の会社を  
継がせる為だけの  
道具に過ぎなかった  
んだろうね……

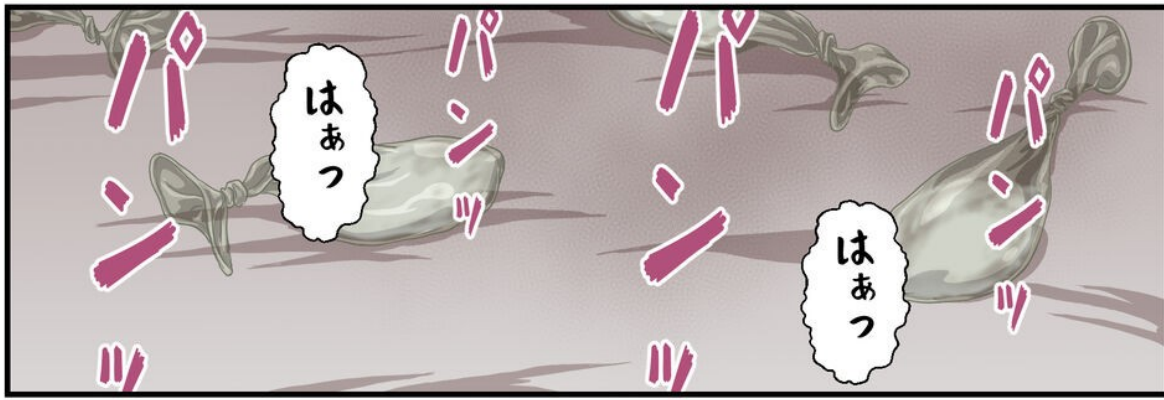
それだったら……  
私が母親に戻っても  
いいのかしら？

……  
ちよつと……

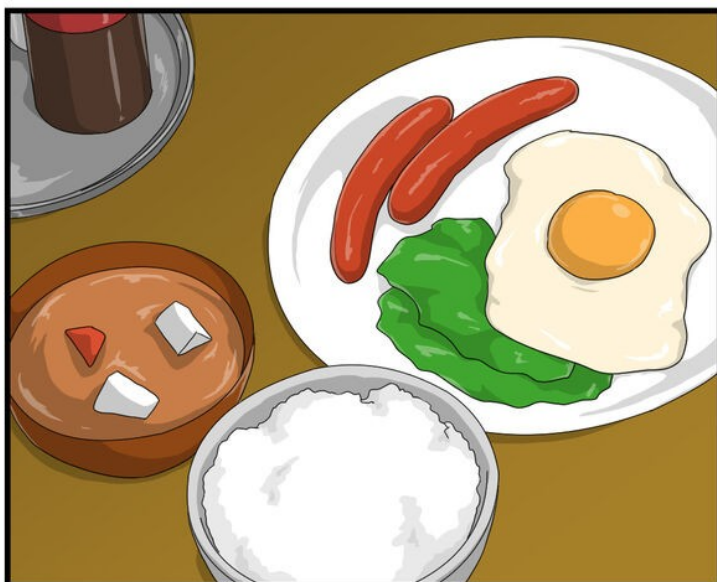
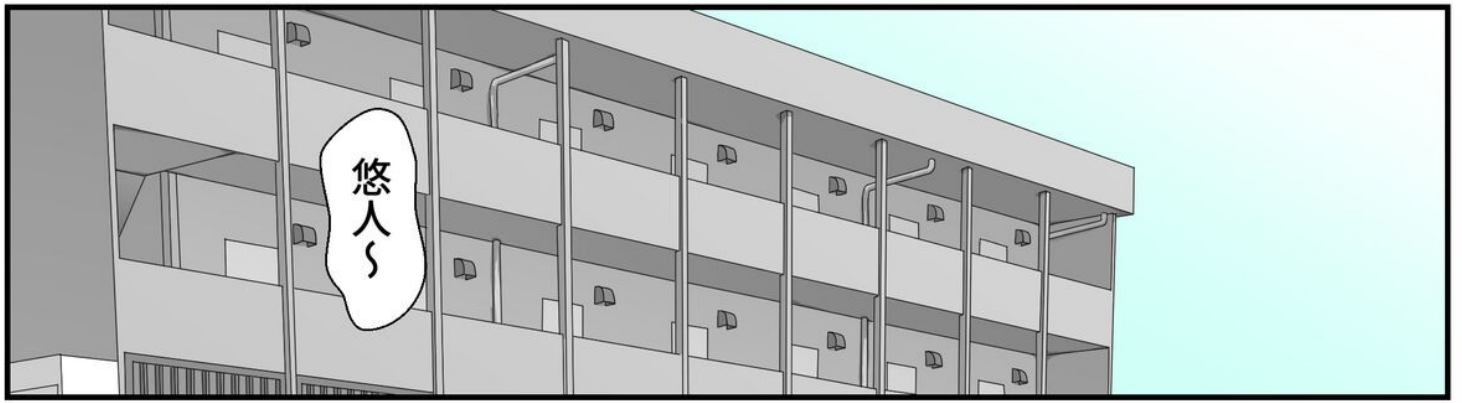
さつきから何  
ソレこすり  
つけてるの？













食べ終わったら  
部屋の掃除をしなさい  
また散らかってるわよ

えろ…  
どっか遊びに  
行こうよ

だめよ  
そうやって  
先延ばしにしたら

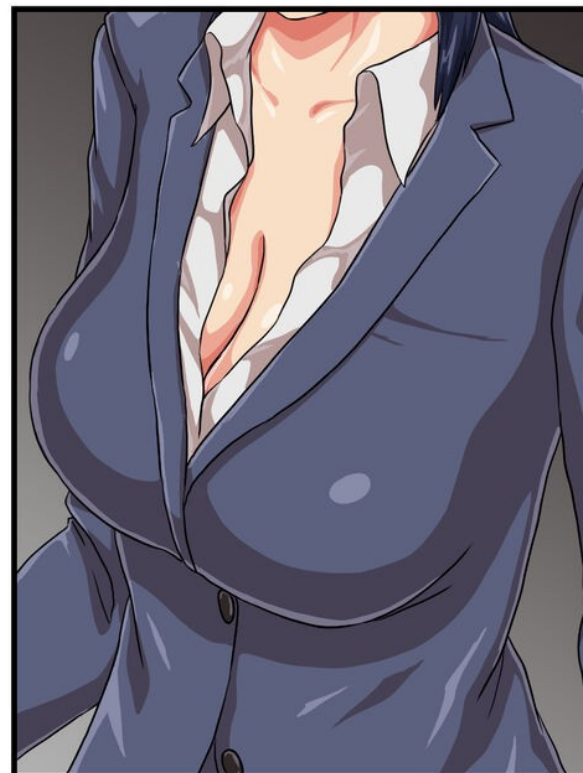
せっかくの  
ママと一緒に  
休日なのに…



結局私は  
悠人の元を  
離れなかった

もう…  
じゃあ早く  
掃除終わらせて  
出かけましょ

たまにこうして  
悠人の家に泊まっては  
一緒に時間を過ごしている





んっ…

ふっ…ちゅ…

一度身体を重ねて  
しまつてからは  
悠人は頻繁に私を  
求めて来るようになった



はぁ

はぁ

でも  
悠人に強く求められると  
結局こうやって流されて  
しまう…



一度きりと  
約束したのに…

あっ…

もよおっ



はっ

びんざん

はっ

びんざん

はっ

びんざん



激しっ…

はああっ

びくっ

びくっ

ああっ

びくっ

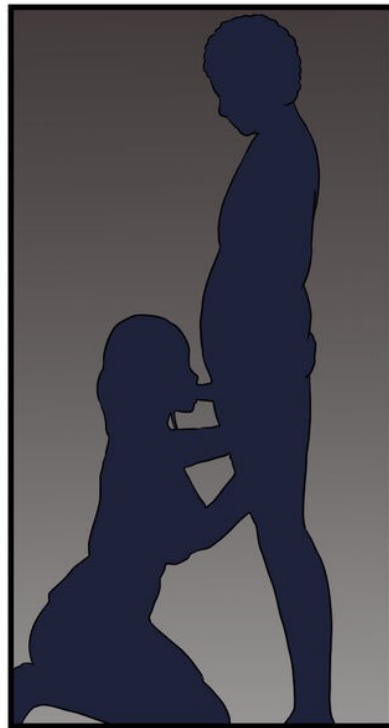


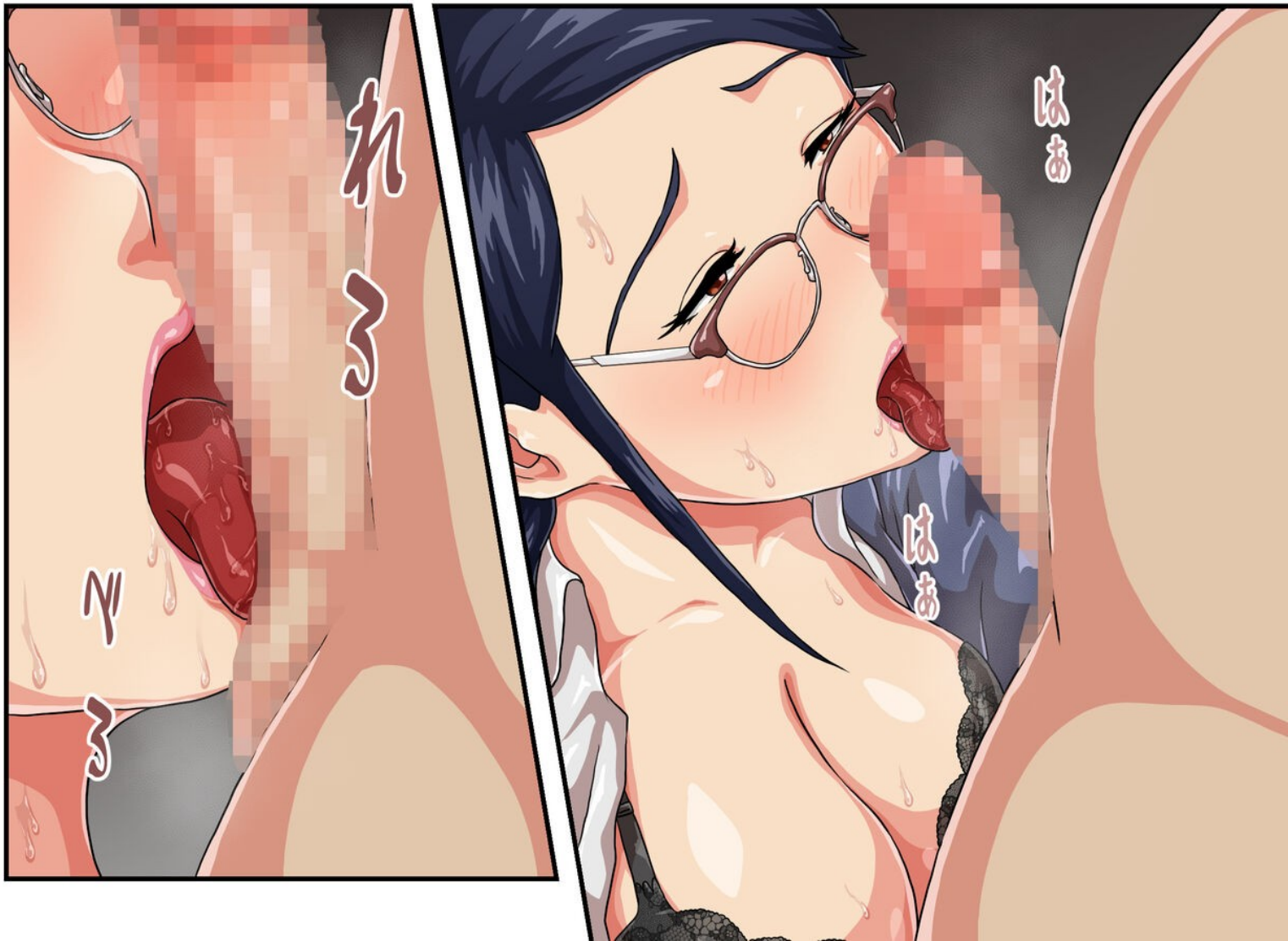
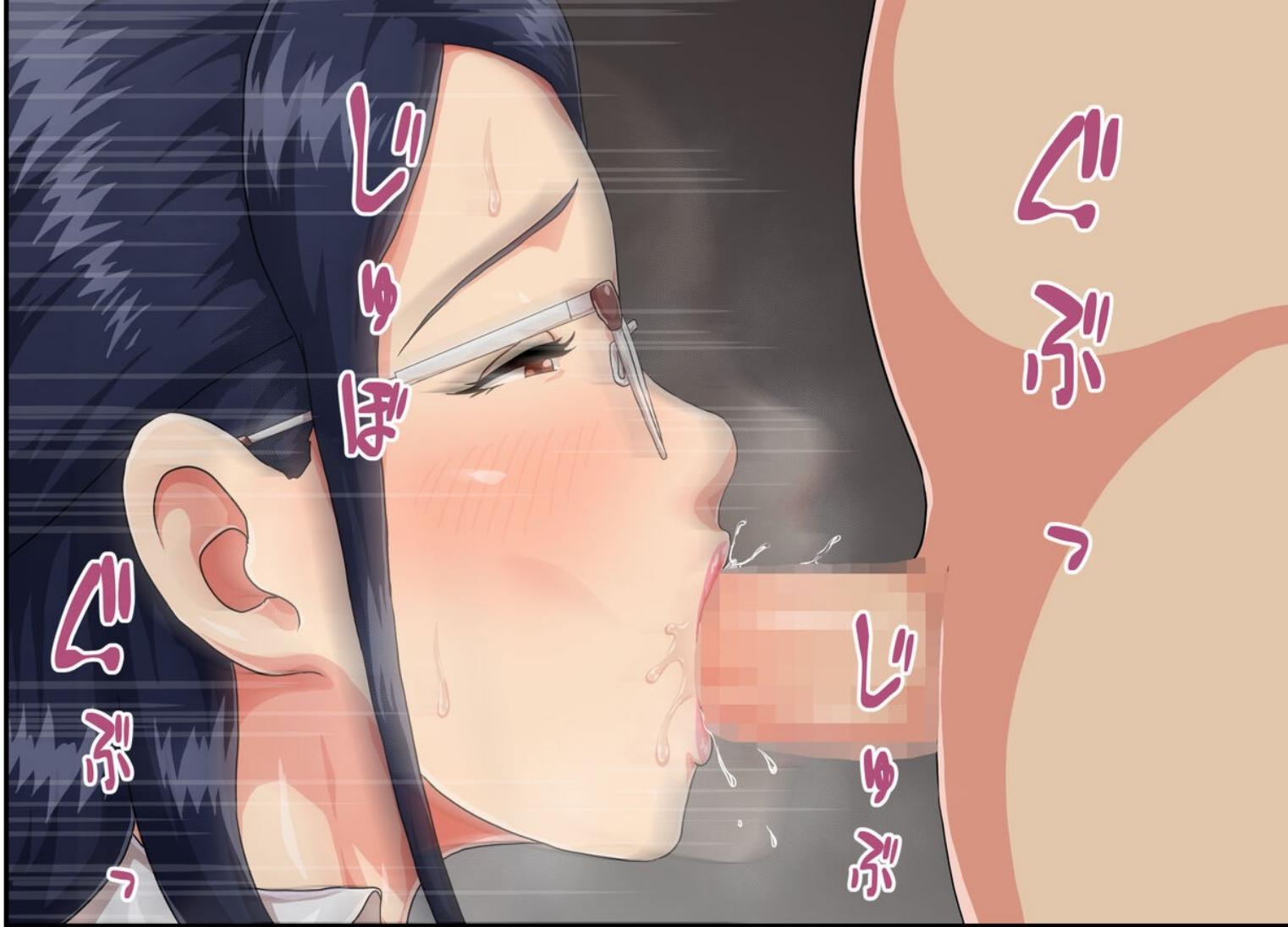
びんざん

びんざん

びんざん

やっ…







こっ...こら  
破いたらダメ...



ママッ

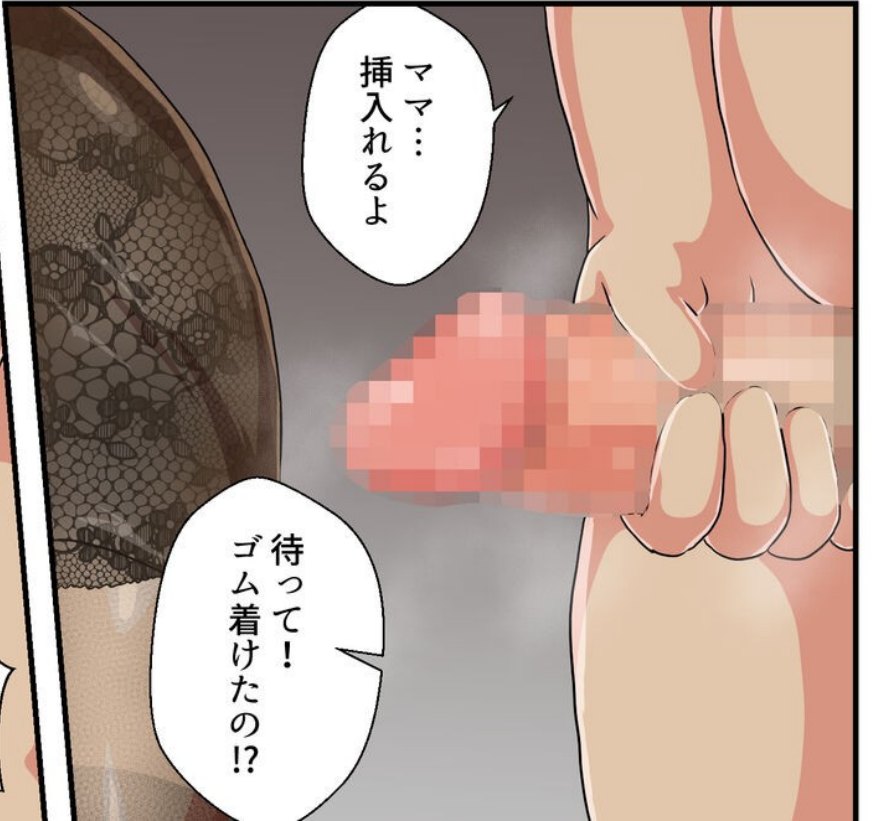
ヒイッ

もう我慢  
できないっ



僕...  
生でして  
みたい...

そんなの  
ダメに決まっ  
てるでしょ!!



ママ...  
挿入れるよ

待って!  
ゴム着けたの!?

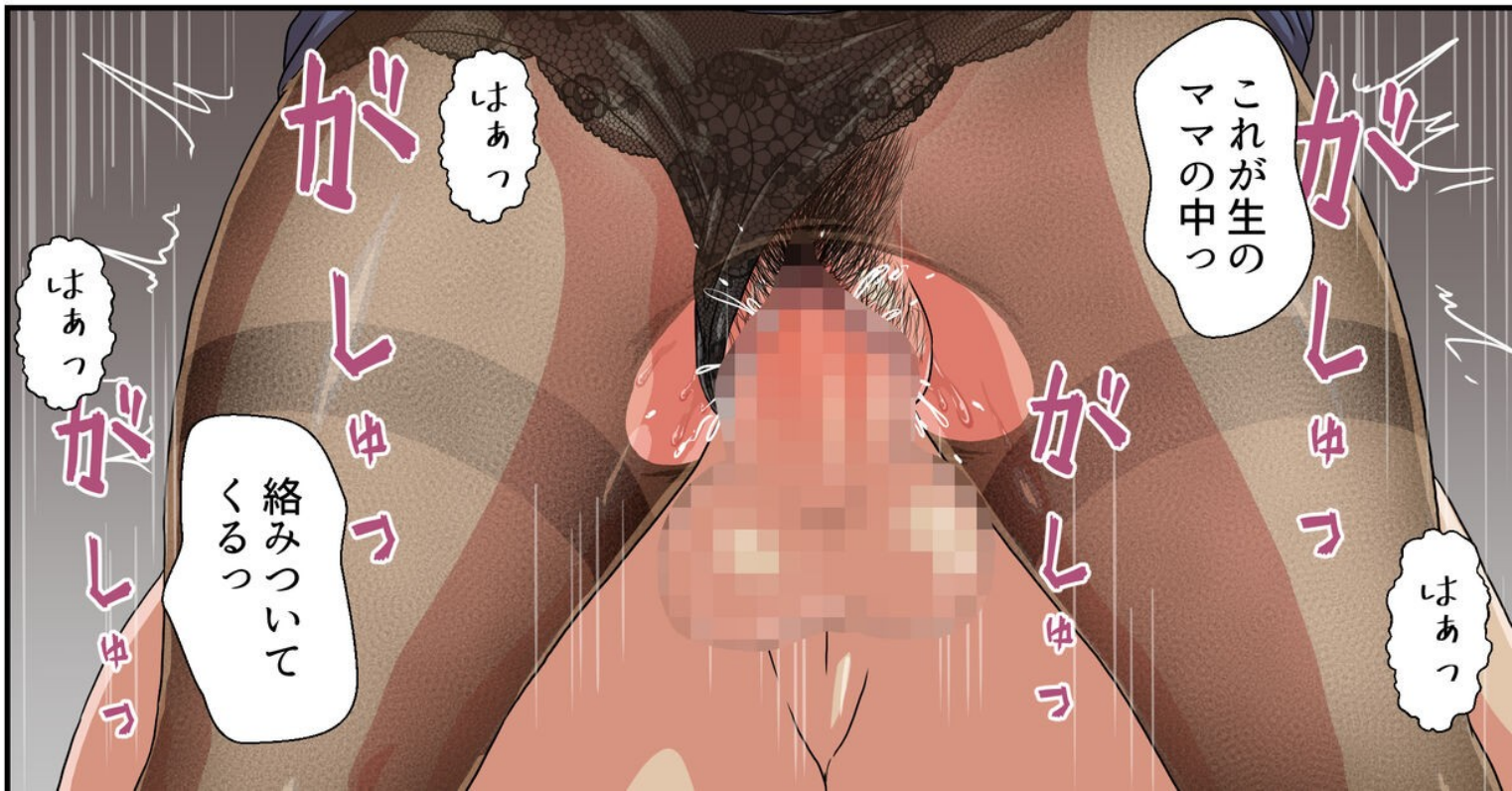
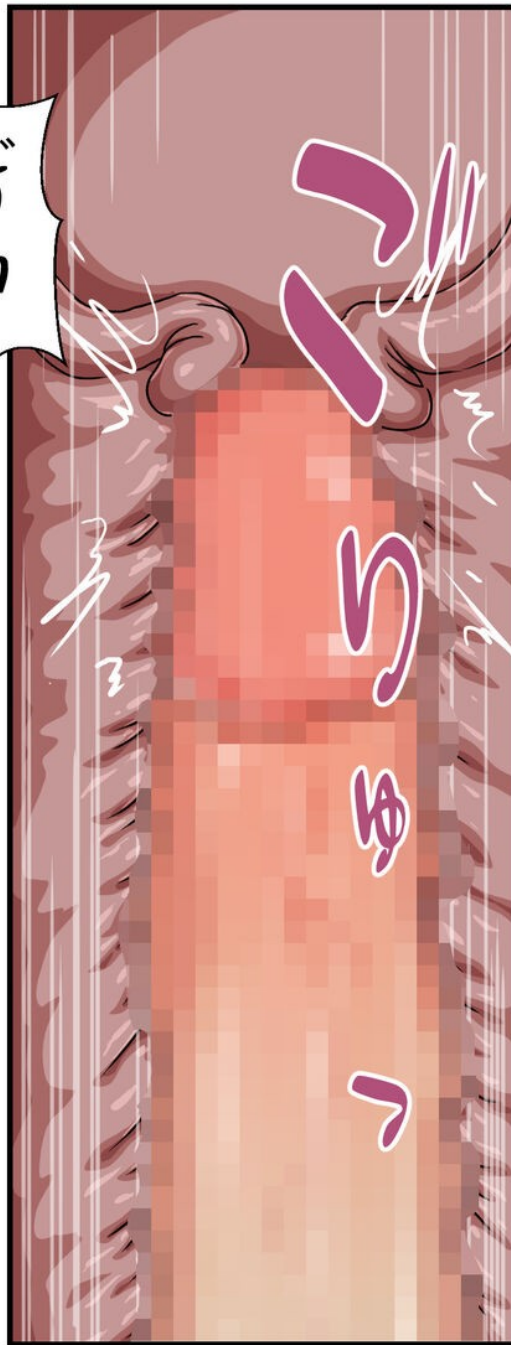


悠人は職場では  
普通なのに  
私と二人きりの時は  
幼い子供のような  
態度をとる

父親から  
厳しく育てられた  
反動なのかしら？

しかし  
甘えられると  
断り切れない  
私にも問題がある  
のかもしれない







ああ  
あぁ

ど  
ゆ  
る  
っ

ど  
ゆ  
る  
っ

熱い…

はぁ

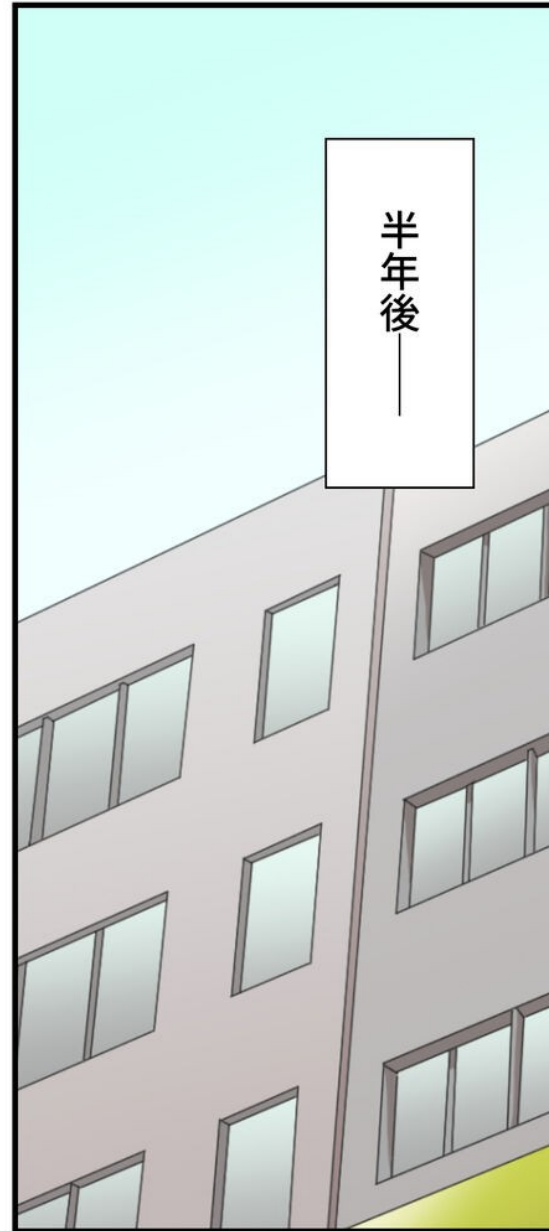
はぁ

悠人の  
中に…

ど  
ろ



おはよう  
ございますっ



半年後



頻繁に私が悠人の  
家に通って  
食生活を改善  
させた結果だ



悠人は見違える程に  
スリムになった





ズキ  
ユツ

うっ

ああっ

ズキ  
ユツ

おおっ

ズキ  
ユツ

ズキ  
ユツ

はあっ

はあっ  
はあっ

はあっ

はあっ  
はあっ

んっ

はあっ  
はあっ



まさか  
ママの方から  
誘ってくれる  
なんてっ

どうせ  
私が言わなくても  
するつもり  
だったんでしょ？



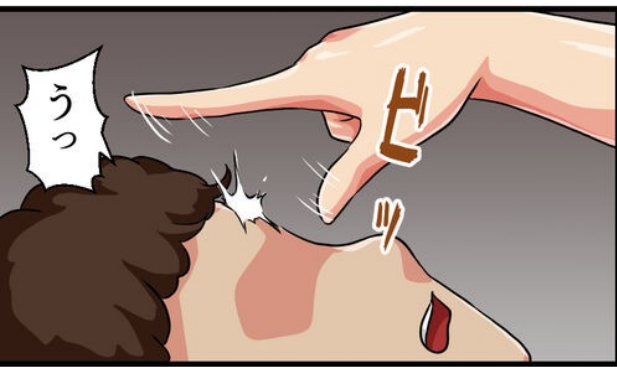
んっ

ぶちゅ

んっ

ぶちゅ







私ったら

職場の子達の  
会話を聞いたら  
不安になって…

はあ

はあ

本当に子離れ  
出来ていないのは  
私の方なのかも  
しれない……

終

サークル「雲之糸」  
母子相姦シリーズ



マッチングアプリで出会った  
相手は母さんでした

フルカラー 50ページ



【続】マッチングアプリで出会  
った相手は母さんでした

フルカラー 50ページ



大嫌いな母を全裸家政婦に  
した話

フルカラー 55ページ



【続】大嫌いな母を全裸家政  
婦にした話

フルカラー 50ページ



お母さんにぶつけなさい

フルカラー 22ページ